

マルコによる福音書 4 章 24～25 節の意味を具体的に説明してください。

ご質問の箇所は、新共同訳聖書では以下のように訳されています。

24 節 「また、彼らに言われた。「何を聞いているかに注意なさい。あなたがたは自分の量る秤で量り与えられ、更にたくさん与えられる。」

25 節 「持っている人は更に与えられ、持っていない人は持っているものまでも取り上げられる。」

一見意味が矛盾するような内容ですが、マタイによる福音書25章14～29節を連想させます。主人が自分の財産を3人の僕に預けて旅に出ますが、帰るまでの間、5タラントンを預けられた者は商売をして5タラントンを儲け10タラントンにし、2タラントンを預けられた者は同様に2タラントンを儲けましたが、1タラントンを預けられたものは、ただ主人を恐れ、何もせず地に穴を掘り、そこに隠していただけで何も儲けませんでした。結果、主人のために心を尽くして預けられた分に見合う多くを儲けた僕はさらに多くを託され、逆に何も儲けなかった僕はその分さえも取り上げられ、10タラントンにした僕に託されることになる。そして29節に同様の御言葉が記されています。

「だれでも持っている人は更に与えられて豊かになるが、持っていない人は持っているものまでも取り上げられる。」

すなわち、神の教えや存在を尊び、精神誠意その御言葉を学び、多くの理解力を得る者はさらに豊かな理解力が与えられ、御国のことを知ることができ、結果、神の恵を受けることができることとなるが、自分の知識だけにより頼み、御言葉をないがしろにする者は、これまで聞いていたことさえも失ってしまうという心すべき教えです。

ほかに、ルカによる福音書の 12 章 41～48 節の忠実な僕と不忠実な僕の話など、各所に同様の教えが記されていますので、折に触れ味わい、学んでみてください。

(参照文献)

ESV Study Bible

Matthew Henry Commentary

新改訳聖書(注解・索引 チェーン式引照付) いのちのことば社